



鉄構部

(仮称)札幌北1西5計画

北海道は「ゼロカーボン 北海道」を、札幌市は「環境首都・SAPP-R0」を掲げ、脱炭素や再生可能エネルギーへの移行に向けた施策の推進や大通駅周辺のまちづくりの一助となる民間開発案件、さらに地域の安全・安心を支える地域強靭化に資するBCP拠点として、市民の皆さまから愛されるランドマーク施設の施工に携わっております。本物件では、札幌市より「脱酸素化」、「強靭性」、「快適性向上」が高く評価され、「ゼロカーボン推進ビル」の認定を取得しています。



工事概要	
建物用途	事務所・ホテル他
延床面積	60,908m ²
構 造	鉄骨造／ 鉄骨鉄筋コンクリート 制震構造
規 模	地上26階、地下2階 塔屋1階
高 さ	110.9m



出典元:NTT都市開発株式会社HP

鉄構部
工事長/職長 菅野 正寛 (勤続34年)

近年、札幌でも夏に30度を超える日が続くようになりました。熱中症対策の重要性が一層高まっています。特に今年から熱中症対策が義務化されたこともあり、空調服の支給といった物理的な対策に加え、現場巡回の際に部下の体調や表情を細かく確認し、少しでも疲れの兆候があれば休憩や水分補給の時間を早めるなど、働きやすい環境づくりに努めています。このような積み重ねが、最終的には安全で確実な施工につながると考えています。また、現場で働く人々の世代が幅広くなっています。特に若手には作業指示だけでなく、日常会話の中でも積極的に声を掛け、職場に馴染みやすい雰囲気づくりを意識しています。長年培ってきた経験や知識を、日々の関わりの中で次の世代に伝えていくことが、自分の大切な役割であると感じています。今後も札幌中心部で進む再開発の現場において、仲間と共に安全を最優先に施工を進めながら、次の時代へ技術・技能と想いをつないでいきたいと考えています。

鉄構部
川上 勇也 (勤続3年)

今回担当した現場は工期が非常に厳しく、安全性と効率性を両立させることが求められました。そこで、休憩所を地上だけでなく屋上にも設置し、移動の負担を減らすことで体力の消耗を抑え、作業中の集中力を維持できるよう工夫しました。また、札幌市中心部という人通りの多い環境に配慮し、先行垂直ネットを設置して落下物対策を徹底しました。勤続3年目で最も大規模な現場となり、これまでにない多くの経験を積むことができました。特に、元請職員や協力会社の方々と積極的にコミュニケーションをとり、信頼関係を築くことが、仕事を円滑に進めるうえで不可欠であることを強く実感しました。今後も様々な経験を一つひとつ積み重ね、幅広い業務を担える力を身につけながら、現場で信頼され、仲間から頼られる存在へと成長していきたいと考えています。

